



野木小だより

令和6年 2月号
野木町立野木小学校
校長 西村 百代

第2回学校評価結果をお知らせします

先日は、授業参観・懇談会への参加、廃品回収へのご協力、また、2学期末には、学校生活・家庭生活アンケートにご協力いただきありがとうございました。

本校では、学校教育目標を達成するために4つの努力点で16の重点項目を設け、数値指標を掲げて教育活動に取り組んでいます。その評価は第1回7月に児童・教職員・保護者や地域の皆様にもご協力いただき、今回は第2回にあたります。その結果について、この紙面で簡単にご報告させていただきます。

※以下の表では、各設問4段階の回答のうち「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な回答を選んだ人の割合を表しています。

【努力点1】 行動しよう 《つよく》 心身ともに健康でたくましい子どもの育成

項目	(数値指標)	児童	教職員	保・地
① からだを使った遊びや運動	(90%)	86%	100%	78%
② うがい・手洗い・消毒	(90%)	95%	95%	80%
③ 栄養バランスを考えた食事	(90%)	94%	91%	70%
④ 安全な生活(交通安全・避難訓練)	(100%)	95%	100%	78%

①については、教職員の肯定的評価が高いのに対し、児童や保護者・地域の肯定的評価は指標を下回っている。これは学校以外に体を動かす意識や習慣が依然として低いことを示唆している。引き続き、室内でできる運動の紹介など、体を動かす働きかけを行っていききたい。②については、1学期に比べ児童の肯定的な評価が下がった。コロナが5類に移行し、手洗い・消毒への意識が下がっていることも懸念される。再度意識化を図りたい。③については、教職員の肯定的な評価が高まった一方で保護者の評価が下がった。食育を通して家庭への働きかけも行いたい。④では保護者・地域の肯定的評価が児童、教職員の評価を大きく下回っている。放課後の過ごし方などを中心に、安全な生活ができるよう交通安全や防災教育への意識づけを継続していききたい。

【努力点2】 見つけよう 《あかるく》 思いやりのある心豊かな集団づくりの推進

項目	(数値指標)	児童	教職員	保・地
⑤自分のよいところ・得意なこと	(85%)	89%	100%	83%
⑥楽しく学校に登校	(90%)	92%	100%	85%
⑦あいさつ・言葉遣い	(90%)	95%	82%	81%
⑧互いを思いやる行動	(90%)	93%	100%	80%

どの項目も、1学期の結果と同じ傾向であるが、⑥では、児童・保護者の肯定的な評価が1学期よりもわずかに上がった。学校生活に満足する児童が増えたことは喜ばしいことである。また、⑦も保護者・地域の肯定的評価が1学期よりも向上している。ただ、⑧と同様に、依然として指標を下回っており、課題となる部分である。あいさつは、人と人のコミュニケーションの基本であるので、円滑な人間関係の構築を意識した指導を行っていききたい。

【努力点3】 深めよう

《いきいきと》分かる授業をとおした確かな学力の保障

項目	(数値指標)	児童	教職員	保・地
⑨自分の考えや思いを表現	(90%)	91%	90%	82%
⑩授業の内容を理解	(90%)	91%	95%	78%
⑪読書	(90%)	80%	100%	60%
⑫家庭学習(宿題・自主学習)	(90%)	92%	100%	75%

⑨～⑫については、主に学習に関係する部分であるが、⑩にあるように学習内容の理解の部分は児童・教職員ともに肯定的評価が高く、児童が学習内容を理解できていると感じていることがうかがえる。⑫の家庭学習への取り組みと関連して、理解の向上につながっていることが推測される。家庭での読書や自主学習の内容を充実させることでさらなる向上を目指したい。また保護者の評価ではどの項目も肯定的な評価が指標に達していない。このことから、保護者にも学校での取り組みを理解してもらうことが必要である。

【努力点4】 つながろう 《連携》 家庭や地域、関係諸機関との連携による地域とともにある学校づくり

項目	(数値指標)	児童	教職員	保・地
⑬一行日記・家庭との連携	(90%)	90%	100%	73%
⑭家の人に学校のことを話す	(90%)	93%	95%	70%
⑮各種たより、連絡帳	(90%)	95%	100%	86%
⑯地域や家の人との学習	(80%)	93%	100%	85%

⑬⑯では、児童・教職員の肯定的評価が高いが、保護者は否定的な評価も多い。特に一行日記を通じた児童と保護者の対話は十分に行われていない家庭もあることが推測される。⑭の「将来の夢」については、保護の肯定的評価が指標を下回っている。質問紙の内容が家庭での対話という視点であることから、家庭での対話をもってもらふことなど、学校からの働きかけも必要であると思われる。学校ではキャリア教育の視点から将来に目を向ける機会を増やしていくことの必要性を感じる。

☆地域や保護者の皆様からの温かいご意見ありがとうございました

学校評価自由記入欄には、ご意見も寄せられましたので主なものをご紹介します。

- ・先生方が若く、子ども達と和気あいあいと接してお互いに信頼されているように見える。
- ・私が住んでいる近所の子供や通学路の子供はとてもあいさつができています。その子ども達の何か手伝いできればといつも考えています。
- ・HP では、先生たちの読み聞かせや人権週間の時など、自分の素直な気持ちやどうあるべきかの思いの感じる事ができた。
- ・野木小の児童の様子や思い、「良いこと見つけた」コメントなど、こまめに地域へも発信していただけることで、野木小を大切にしていきたい手助けしていきたいなどの気持ちが生まれ続けていくように思った。
- ・最近では、広場や公園で遊ぶ数人の子ども達の声が地域に元気を与えてくれているような気がします。その子ども達が共に成長し、地域を支えてくれることを願っています。
- ・大人同士が地域、学校とで手を取り合い、助け合っていくことを子ども達に見せていけたらと思っています。
- ・野木小に通っている子供達は、先生方のご指導のもと小学生らしい子ども達だと思います。

☆一列で登下校できなかつたり、あいさつができなかつたりするなどの心配なご意見もいただきましたので、今後も一つ一つついでに指導を継続していきたいと思ひます。

☆日々の学校生活の様子は、野木小学校ホームページをご覧ください。